

ノロウイルスの感染性胃腸炎に注意！

最近、本校で感染性胃腸炎の発生が報告されました。この時期の感染性胃腸炎の多くは、ノロウイルスによるものと言われています。ウイルスは感染者のおう吐物や排泄物からうつるケースが多いようです。

学校は集団生活のため、感染対策として、食事前やトイレ後の手洗いの徹底、各学部におう吐処理セットを配置し、おう吐時にすぐに対処できるようにしています。

ご家庭でも、感染性胃腸炎の対策と、早めの受診をよろしくお願いします。

どんな
びょうき
病気？

ウイルスや細菌（ロタウイルス、ノロウイルス）が原因で起こる胃腸炎のことです。11月から3月ごろに多くみられます。

おも
しょうじょう
主な症状

吐き気・嘔吐



下痢・腹痛



37℃台の発熱



※ 潜伏期間は、1～2日間です。

予防
まづめ

①手洗い・うがいをする

食事の前やトイレの後には、せっけんでしっかり手を洗いましょう。

②タオルやハンカチの貸し借りはしない

ノロウイルスは感染力が強いウイルスです。油断しないようにしましょう。

③吐いた時や、下痢でトイレを汚したら、すぐに先生に知らせる

ノロウイルスはおう吐物や便の中にたくさんいます。乾燥すると空気中に浮かんで感染を広げるので、すぐに処理する必要があります。



※ 感染性胃腸炎は、出席停止です。受診の結果、診断を受けましたら、必ず学校にご連絡ください。